



地域医療連携室だより Vol. 92

平成 29 年 2 月 1 日発行

発行元 大津市民病院地域医療連携室

住所 〒520-0804

滋賀県大津市本宮二丁目 9 番 9 号

TEL 077-526-8192

<http://www.municipal-hospital.otsu.shiga.jp/>

小児科の紹介

小児科診療部長
中嶋 敏宏



平素より各地域の先生方におきましては、患者様をご紹介いただき、また逆紹介をお引き受けいただきまして、心より感謝申し上げます。今回は小児科を紹介させていただきます。

当院小児科は日本小児科学会の小児科専門医研修施設の認定を受け、小児科専門医 4 名で業務を行っており、各分野において臨床経験が豊富で質の高い診療を行っています。また毎週水曜日午前中には京都府立医科大学小児科より小児神経専門医(長谷川龍志医師)に来ていただいており、小児神経疾患についても専門的な診療を行っています。

外来部門は、午前診は一般診察と予約診察の 2 診体制となっています。午後診は予約診察で、月曜水曜は血液アレルギー外来(木原担当)、火曜は予防接種外来(平本、知念担当)、木曜は乳児健診(平本、知念担当)、金曜は代謝内分泌など慢性疾患外来(中嶋担当)の専門外来を設けており、それぞれ専門的な診療を行っています。また小児専門の理学療法士を配する小児訓練室を院内に設置しており、脳性麻痺や発達の遅れ、ダウン症候群などに対する Vojta 訓練なども積極的に行っています。

最近増加しているアレルギー疾患につきましては、当科は中嶋と木原が日本アレルギー学会専門医を取得しており、日本アレルギー学会教育施設の認定を受けています。気管支喘息やアトピー性皮膚炎など小児のアレルギー疾患に対する先進的かつ標準的な治療を行うとともに、アレルギー専門医を目指す医師の教育指導も行っています。また従来の予防的な(過剰な)食物制限から、できるだけ食べさせていく治療へと劇的に変わってきている食物アレルギーについては、積極的に食物負荷試験(外来または 1 泊 2 日入院)を行い、最低限の食物制限とその解除を行っています。普段先生方が診ておられる患者様で食物負荷試験が必要と思われる場合は、ご紹介いただければ検査させていただきます。



入院診療については、入院ができるだけ短期間になるよう適切に治療させていただきだけでなく、付き添いや兄弟の入院など家族の様々なご要望にできるだけお答えできるよう柔軟に対応しており、また入院中できるだけ快適に過ごしていただけるよう、スタッフ一同努力しています。

患者様のご紹介につきましては、時間内は地域医療連携室に連絡していただければいつでもご紹介をお受けさせていただきます。また時間外や土日祝日については、一般の救急患児は ER にて内科系当直医が診察し、必要時に小児科医が対応させていただくことになっていますが、**先生方からのご紹介の場合は、その旨を ER 受付に連絡していただければ、最初から小児科医が対応させていただきます、入院も含め診療させていただきます。**時間外も含め積極的にご紹介をしていただきますよう、これからもよろしくお願い申し上げます。

小児科 外来担当表(平成 29 年 2 月現在)

		月	火	水	木	金
1 診	午前	中嶋	木原	知念	中嶋	平本
	午後 予約診	知念	予防接種・平本、知念	平本	乳児健診・平本、知念	血液・アレルギー・木原
2 診	午前	平本		小児神経・長谷川	木原	
	午後 予約診	血液・アレルギー・木原	予防接種・平本、知念	血液・アレルギー・木原	乳児健診・平本、知念	慢性疾患・中嶋

こんな看護をしています - 外来部(6階) -



～外来部(6階)って何してるどころ?～

外来部(6階)看護科長 西 昌美



平成27年11月に外来から独立して、外来部6階(化学療法部・通院手術部)が新しい部署として立ち上がりました。

当初、スタッフは11名(看護補助者含む)でスタートしましたが、現在は9名です。

化学療法部・通院手術部のスタッフが一つの部署として働く以上は両方が出来るように、平成28年1月から部署内のローテーション研修を取り入れました。プリセプター制で2週間の研修期間としました。

現在は、化学療法部・通院手術部それぞれ3名のスタッフが勤務し、1週間ローテーション体制を取っています。小チームですが、お互いが助け合い安全に安楽な看護の提供に日々努めています。

化学療法部

がん化学療法認定看護師とスタッフ3名で対応しています。平成28年4月からは薬剤師が配置されました。患者様にとって、安心して治療を受けて頂ける環境が提供できたと思っています。

抗がん剤治療は使用される薬剤によって副作用も様々です。専門的知識と熟練した技術を持つスタッフが化学療法に携わり、安心・安全な看護の提供に努めています。



お部屋には、**ベッド**と**リクライニングチェア**の両方があり、患者様のお身体の調子やご希望、治療内容などに応じて考慮させて頂いております。



通院手術部

通院手術は手術を受けられる全科の患者様にご利用いただいています。

外来手術(当日来院、当日帰宅)、短期滞在手術(当日来院、1～3泊後退院)の患者様の術前オリエンテーションから術後看護まで一連の流れを通院手術部でサポートしています。

平成28年8月からは、人工透析患者に対する『シャント造設術後のDVD』を使用した退院指導を取り入れ、患者様より好評を得ています。件数的にはまだまだ少ないですが、高齢患者が増加している今、視覚での説明をすることでより理解を深め、効果的な生活指導にもつながっています。

手術以外では自己血輸血・血管造影・ESWLなども通院手術部で対応しています。



抗がん剤治療や免疫療法は、長期間繰り返し行うことになります。少しでも季節を感じていただけるように、スタッフが手作りで工夫をしています。



NST 勉強会レポート

※AHN(artificial hydration and nutrition)・・・人工的水分栄養補給法

平成 28 年 12 月 22 日(木)17 時 30 分～19 時 15 分、院外講師をお迎えし大津市民病院 9 階大会議室にて、平成 28 年度第 8 回 NST 勉強会(医療従事者向け)を開催いたしました。

テーマは「End-of-Life Care における AHN*を考える」で、講師は医療法人西山医院理事長・院長の西山 順博先生、参加者は 院内 20 名 院外 2 名の計 22 名でした。

勉強会は、西山先生による講義と「KJ 法」によるグループワークとの 2 部構成で進められました。

講義では、日本の高齢化を取り巻く課題、栄養経路の選択、PEG の適応、摂食嚥下機能の低下と介護度の関係などから End-of-Life Care における栄養管理についての基礎を学ぶ一方で、今後いかに高齢者の健康寿命を延伸させることができるかが重要なポイントとなるということも再認識しました。

また、平成 28 年 9 月開催の大津市医療福祉フォーラムにて上演された、おおつ在宅療養応援団による在宅看取り劇、「知ってほしい・・・在宅で看取ること」の DVD も上映され、急性期病院勤務ではイメージしにくい(と思われる)在宅看取りの実際についてユーモアをまじえながら学ぶことができました。



グループワークでは、「End-of-Life に各々の職種ができるキュアとケア」をテーマに熱心なディスカッションが行われました。

その中では、「患者・家族の思い、患者を取り巻く状況をしっかり把握した上で、医療従事者として何ができるかを患者・家族と共に一緒に考える」、「社会資源を有効に活用する」「多職種連携でサポートする」、「入院後は、早い段階から患者の退院後の生活をイメージした支援をする」などの意見が出され、参加者はとても充実した時間を過ごすことができていた様でした。



❄️ ニューイヤーコンサート ❄️

1 月 25 日(水)、大津市民病院の 1 階正面玄関ロビーにおいて、“アンサンブル MUSASHINO”のみなさんによる、「ニューイヤーコンサート」が開催されました。



“アンサンブルMUSASHINO”の皆さんは武蔵野音楽大学のご出身で、個人で、またグループで、広く音楽活動をされています。今回はフルート、オーボエ、クラリネット、ファゴットの木管四重奏を披露していただきました。

本格的なクラシックから、ポピュラーな音楽まで、透明感のある美しい音色に惹かれ、会場には 110 名を超えるたくさんの方が集まり、大盛況となりました。

ER 症例発表会のお知らせ

(大津市民病院救急診療科)

3 月 2 日(木) 17 時 30 分～

大津市民病院 9 階大会議室
駐車場・参加費無料／事前申込み不要

当院研修医(8 名・予定)が、
ER・ICU で経験した興味深い症例を、
考察を含め発表いたします。
是非ご参加ください。

公開講座としていますが、院外からも
多数の参加をお待ちしています。

お問い合わせ・地域医療連携室
TEL:077-526-8192